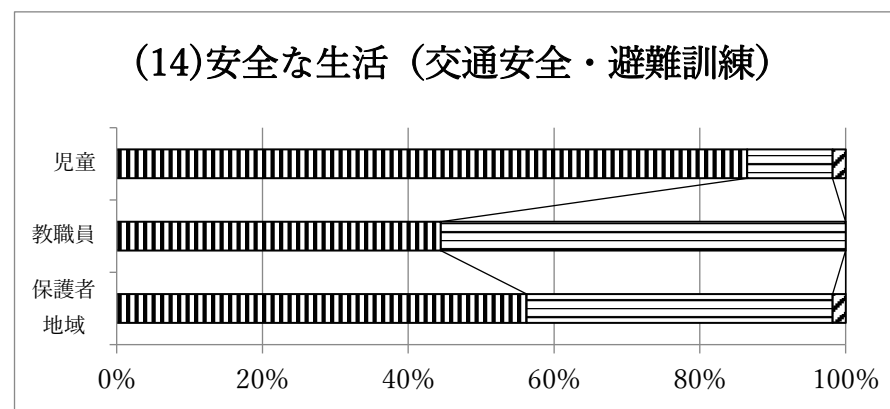
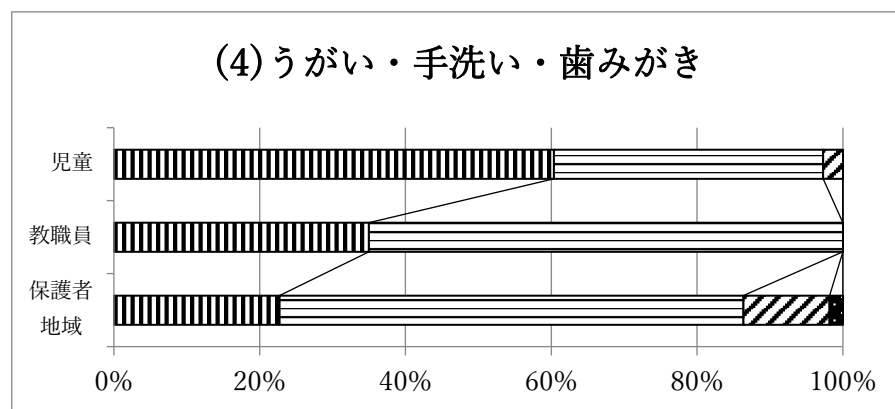
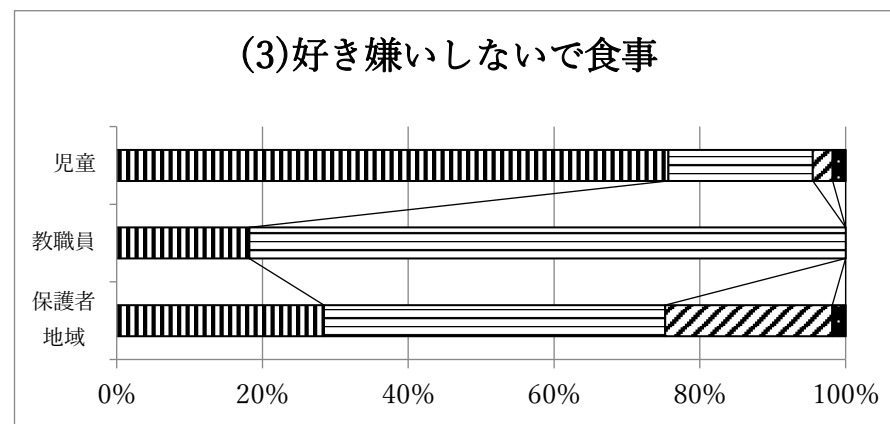
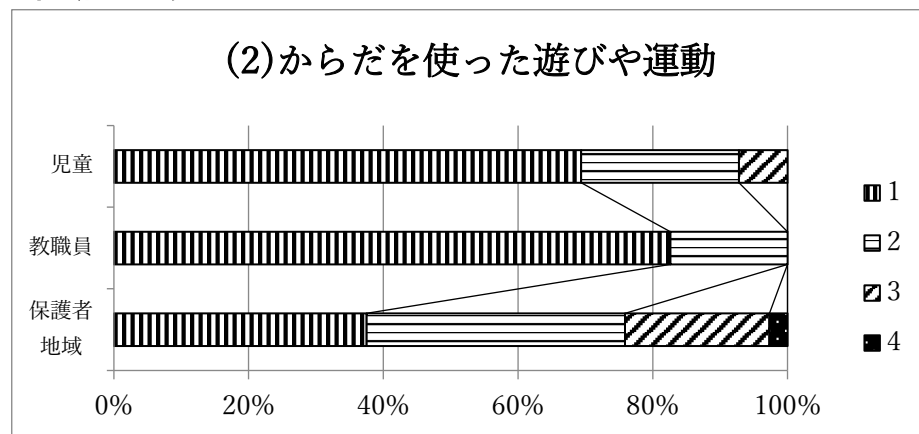


## 平成28年度第2回 学校教育・家庭生活についてのアンケート結果並びに考察

### <行動しよう>

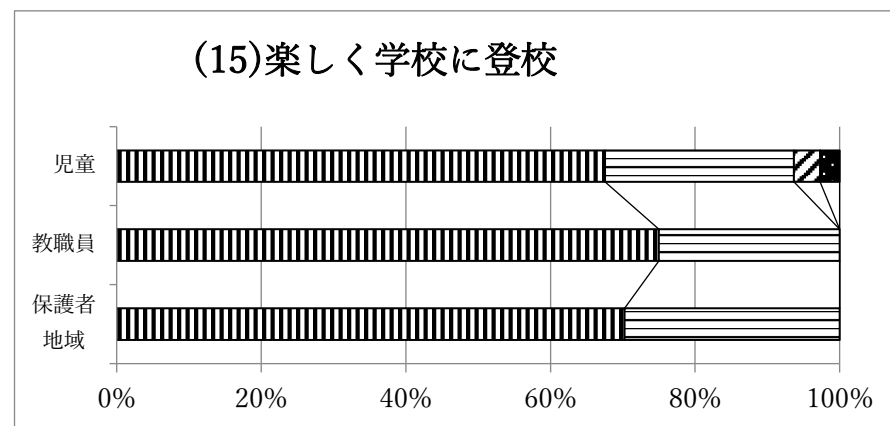
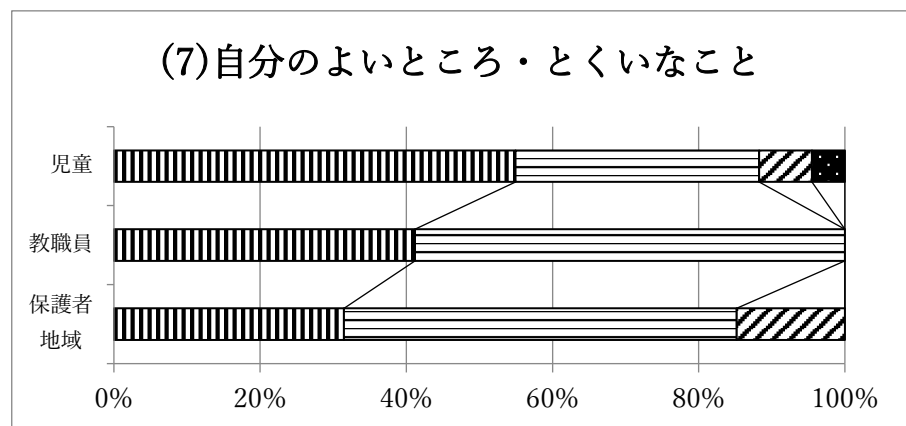
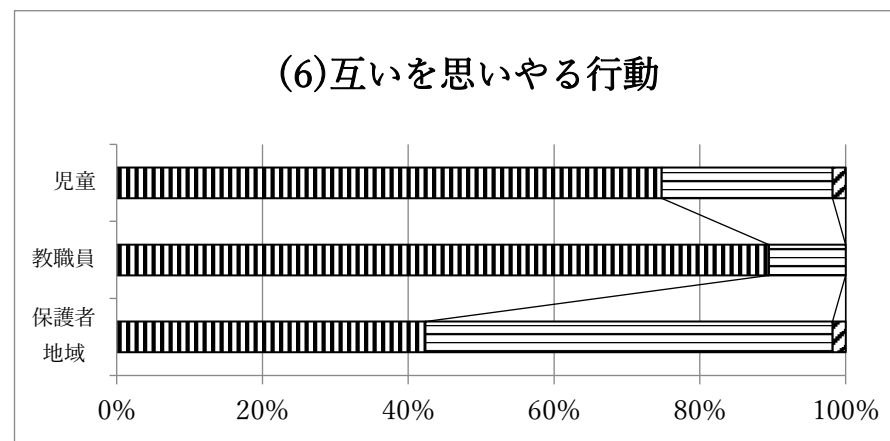
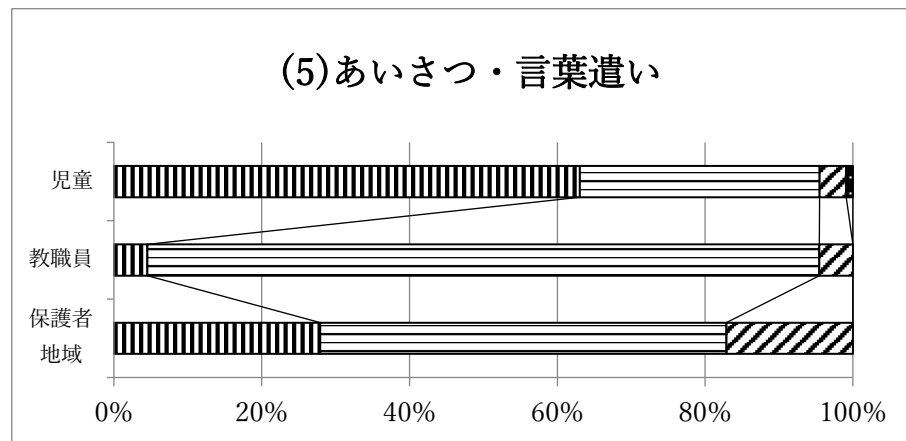


※凡例 1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 まったくあてはまらない

(考察)

4項目ともに児童・教職員の評価はほぼ指標を達成し、良い状態であるといえます。(2)については、新しい遊具(雲梯)が設置され、子どもたちは手にマメを作りながら遊んでいました。遊びながら自然に握力・腕力がつくことを期待しています。(3)については、「給食を残さず食べようの日」を定期的実施し、食育についての意識が高まり、その効果が現れてきています。(4)については、養護教諭を中心に子どもたちへの働きかけ、そして継続的な指導をしてきました。(14)については、昨年度の反省を生かした避難訓練や交通安全教室を実施してきました。健康的で安全な生活が送れるよう、これからも工夫した取組をしていきます。(2)・(3)・(4)については、保護者・地域の方の評価が、指標を達成することができませんでした。保健関係のカードや「体を使って遊ぼうカード」を活用して、家庭や地域においても、外で元気に遊んだり、好き嫌いをせず食することができるように、保護者の皆さんとの協力体制を大切にしていきます。

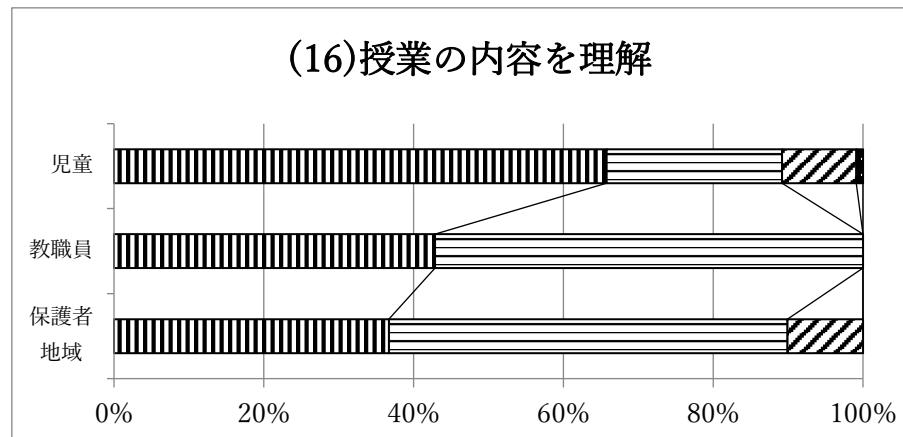
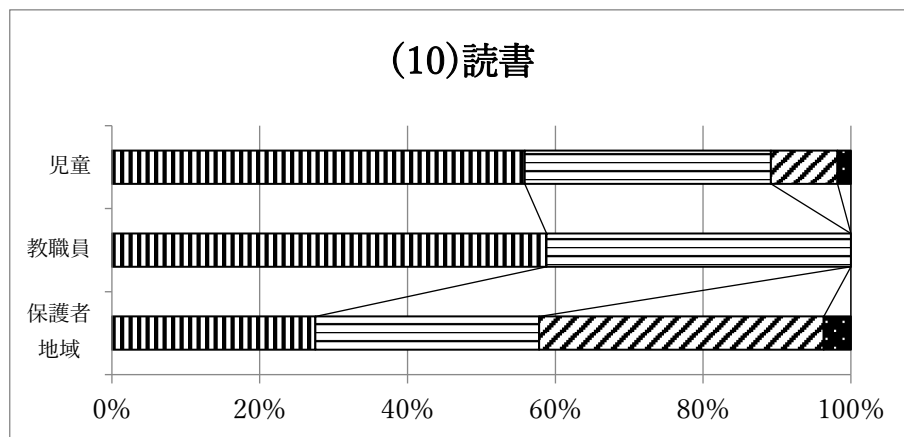
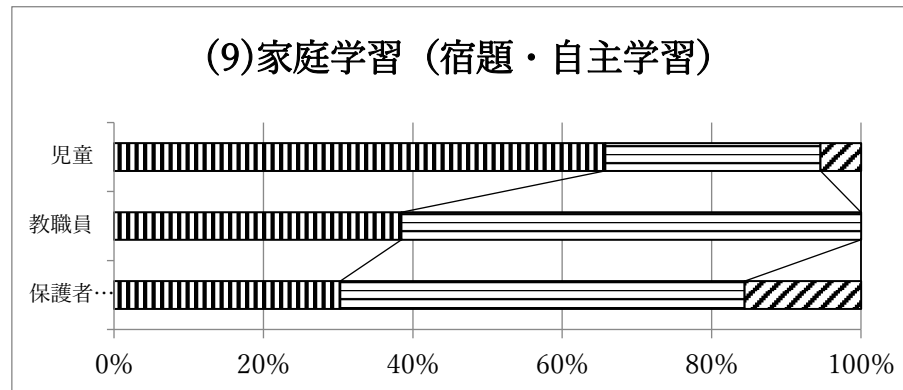
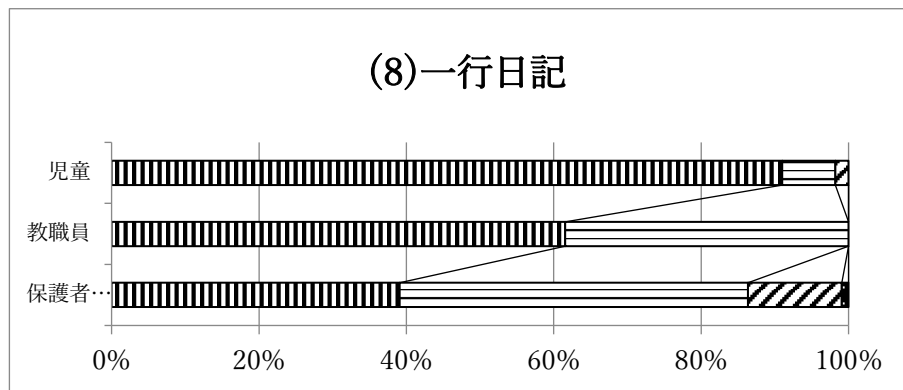
## <見つけよう>



### (考察)

4項目ともに指標をほぼ達成し、大変良い状態であるといえます。(5)・(7)については、3年間の経年変化を見ると、肯定的な回答が年々増えてきています。児童会によるあいさつ運動での取組や教職員からの働きかけにより、あいさつの習慣が身につけてきました。また、人権集会での取組や「自分の良さを見つけようカード」の活用、帰りの会での取組などにより、自分の良さや友達の良さに気づき、自尊感情が高まってきていると思われます。(6)については、考える朝会や行事などになかよし班活動の場を拡張・工夫することにより、年齢に応じた役割を自覚した、互いを思いやる行動が多く見られました。これからも、なかよし班による異年齢集団活動に積極的に取り組んでいきます。(5)・(6)については、児童と教職員・保護者・地域との差が大きくなりました。(7)・(15)において、「あまり当てはまらない」「まったく当てはまらない」を選択した児童がいます。アンケートやQ-Uテスト、教育相談などから実態を把握し、個別指導の充実を図り、個に適した支援をしていきます。

## <深めよう>

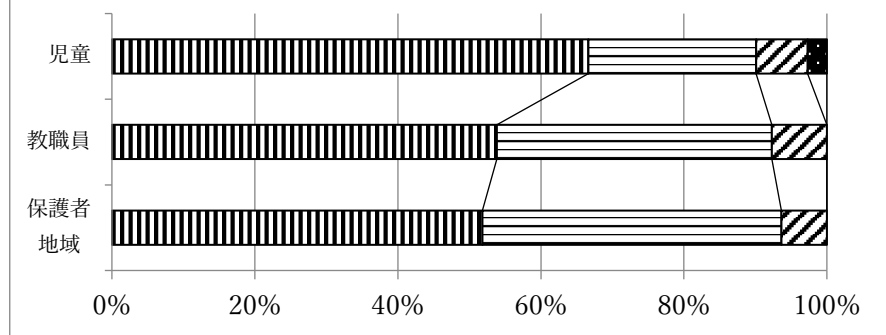


### (考察)

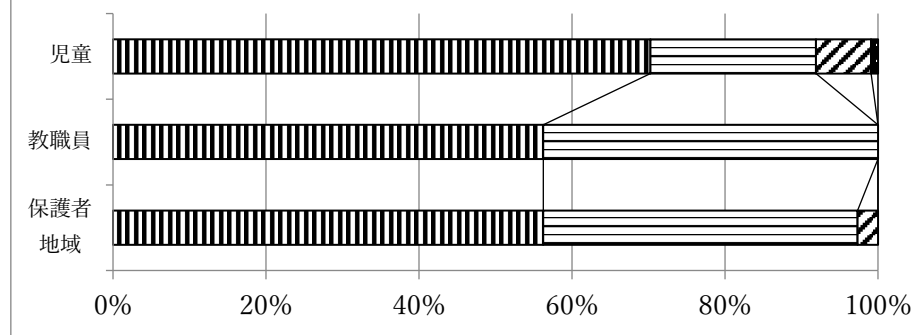
4項目ともに指標をほぼ達成し、良い状態であるといえます。(9)では、学習指導部を中心とした全校での共通理解に基づく学力向上への取組により、3年間の経年変化で肯定的な評価が年々上がってきています。(16)については、児童の回答において否定的な回答が、昨年度に比べ若干増えました。児童にとって、わかる・できる・楽しい授業になるように、ねらいの明確化、自力解決・集団解決の場の設定、書くことによる振り返りを重視し、目標と指導と評価の一体化を図っていきます。また、「つかむ・おさえる・深める・見つめる」展開を通して、学ぶ意欲の向上を図りたいと考えています。(10)については、保護者・地域の方の評価が指標を下回りました。朝の読書や読書週間における働きかけ、日常の読書指導により、学校においては本に親しむ習慣ができているが、家庭では様々な要因で本に親しめていない状況にあると思われます。また、保護者・地域の方のもっと読書に親しんでほしいという願いの表れと受け止めることもできます。家読を推奨し、保護者のみなさんと協力して子どもの読書に取り組んでいきたいと思えます。(8)については、本年度からの取り組みです。表現力の育成・家庭との連携を目指して、今後充実させたいと思えます。

## <つながろう>

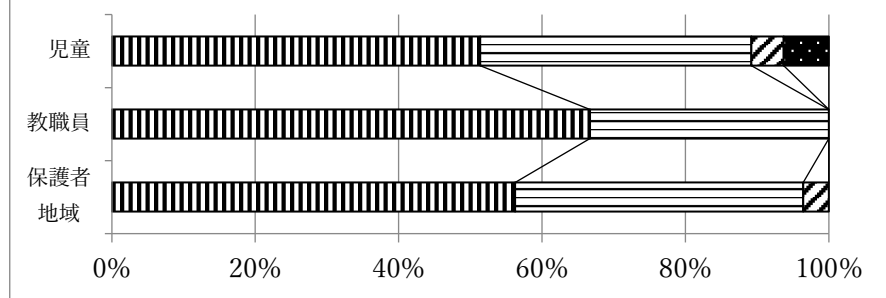
### (11)各種たより・連絡帳



### (12)保護者や地域の方との学習



### (13)家の人に学校のできごとを話す



#### (考察)

3項目ともに指標をほぼ達成し良い状態であるといえます。3年間の経年変化でも、「よくあてはまる」が年々増えてきています。過去2年間との大きな違いは(13)の教職員による評価で、「よくあてはまる」との回答が50%増えたことです。一行日記を取り入れることにより、保護者の皆さんとの連携がさらに進んだことが考えられます。保護者・地域の方の回答でも、「よくあてはまる」が増えました。しかし、(11)・(13)において「まったくあてはまらない」と回答した児童が増えました。このことを重く受け止めていきたいと思えます。子どもの健全な成長のためには、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を自覚し、連携・協力することが欠かせません。今後も野木小っ子のより良き成長のため、学校や家庭、地域との連携を大切にしていきたいと考えています。授業参観や行事等により開かれた学校づくりを推進してきました。今年は、学校だよりを商店等に置いてさらなる学校理解を促進してきました。しかし、アンケートの自由記述において、ホームページ等についての改善点も挙げられていたので改善に努めたいと考えています。

